

# なぜ 依存度低減?

エネルギー基本計画にも書かれていますし、政府が事あるごとに言っている「原発依存度低減」。一方、「原発は安価でCO2も出さない」とも言います。こんな国会議論がありました。。。やり取りを抜粋します。

参考資料①

2017年3月8日 衆議院経済産業委員会

田嶋要氏（民進党）

そんなにいいものだったら、なぜ方針として依存度を下げなきゃいけないんですか

世耕 経産大臣

やはり一つは、かつて安全神話に陥って十分な過酷事故への対応ができなかった、あのような悲惨な事態を防ぐことができなかったことへの深い反省、国民の意識に向き合った深い反省、そういったことを踏まえて依存度を下げていくということだと思います。

田嶋氏

低減させる先にはゼロに行くんですか。ゼロにするとは絶対言いませんね。二〇とか二二とかとおっしゃっている。なぜ低減させなきゃいけないんですか。CO2は出さない、コストは安い、いいことばかりじゃないですか。

補足

2015年7月「長期エネルギー需給見通し」で示された2030年度の原発比率20~22%のこと(参考資料②)

## 世耕 経産大臣

原子力発電もいいところと悪いところがある、  
そういうところを総合的に判断しながら、  
今の比率を我々は専門家とも議論をしながら  
決めさせていただいたわけでありませう。

## 田嶋 氏

皆さんの考える原子力発電の悪いところ  
というのは何ですか。

## 世耕 経産大臣

やはり、過去あれだけの過酷事故を起こしたという、  
安全神話に浸って過酷事故を起こしてしまったという  
この**反省**というところは非常に大きいと思います、

## 田嶋 氏

本当に依存度を下げたいんだったら、  
私たちが言っているように、**原発ゼロを実現すること**  
を目指さなきゃおかしいと思いますけれども

## 世耕 経産大臣

依存度ゼロにできるとは  
我々は現段階では全く確信ができないわけでありませう。

## 最後に一言

「なぜ依存度低減？」という質問に対し、「事故の反省」と答える。  
政府としては「事故を起こした罰として少しだけ原発を減らす」という認識って事でしょうか？  
「原子力発電の悪いところは？」という問いにも「事故の反省」と答えているのですが。。。  
意味がわかりませう。

ドイツは福島事故後すぐに倫理的な視点で議論し、脱原発を決めました。  
その報告書にはこんな記述があります。(参考資料③)

『短期的な利益を優先して、  
未来の何世代にもわたり負担を強いるような決定に対しては、  
社会は責任を負わなければならず』

日本との認識の差にめまいがします。

日本では  
なぜ倫理的な議論ができないのでしょうか？

### 参考資料

- ①衆議院HP 議事録 第193国会 経済産業委員会 (平成29年3月8日)  
[http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb\\_kaigiroku.nsf/html/kaigiroku/009819320170308002.htm](http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_kaigiroku.nsf/html/kaigiroku/009819320170308002.htm)
- ②経産省HP 「長期エネルギー需給見通し」を決定しました  
<http://www.meti.go.jp/press/2015/07/20150716004/20150716004.html>
- ③大月書店 「ドイツ脱原発倫理委員会報告—社会共同によるエネルギーシフトの道すじ—  
安全なエネルギー供給に関する倫理委員会 著/吉田文和、ミランダ・シュラーズ 編訳